

2016年度事業計画

(2016年1月1日～12月31日)

法人名称 NPO 法人 教育支援グループ Ed.ベンチャー

1. 事業活動方針

新自由主義的風潮が、私たちの日常生活の中に格差として、目に見える姿を現し始めている。それは、大手を振り、政治をも牽引しながら、その風潮を一層強めているように見える。経済が政治を主導する社会状況の中で、社会的公正に向けてEd.ベンチャーは、どのような活動に取り組むべきか。本年度は、2014年度総会の行動宣言の改訂を目指して、さまざまな活動に取り組んでいきたいと考える。

そのための方針として、Ed.ベンチャーの組織を再編して、様々な活動に取り組んでいきたい。特に、柱となるのは、若者たちを中心とすること、立場を明確にして活動に取り組むことである。

具体的には、「外国人」というマイノリティへの支援について、2方向を検討する。

第1に、これまで当事者の立場からの意見を拾うために、積極的な参加を要請してきた外国人当事者団体「すたんどばいみー」のメンバーを理事から減らし、日本人というマジョリティの立場ですべきこと・考えるべきことを軸として活動を展開していきたい。他方、「すたんどばいみー」に対しては、Ed.ベンチャーの保有する資源の提供を積極的に行う。

第2に、模索的な取り組みを多方面で行うために、現在の事業を細分化し、目的を明確にして、現在の行動宣言の先の行動すべき方向を見据えていきたい。

◆Ed.ベンチャー行動宣言◆ (2014年度総会採択)

- 1 弱い立場の子どもたち、また、子どもたちを支える学校や先生を支援します。
- 2 日本で生活する外国の人たちを、教育の側面で支援します。
- 3 東日本大震災の被害に対し、子どもと学校への支援に今後も取り組みます。
- 4 原子力発電への反対を表明します。

2. 事業内容

学校支援事業 ①理論学習会

事業概要	<p>本学習会は、教員を中心に各テーマを設定して行う。学校で出会う子どもたちや親が抱える大変さや困難さを目の当たりにする度、学校を取り巻く世の中の状況は、厳しさを増していると思われる。立場の弱い者がさらに追いやられるような社会状況の中で、学校は多様性を認め合い、よりよい社会を目指す場となりえるのか。目の前にいる子ども達の現状をよく見つめ、課題を的確にとらえる力をつけることで、教員という立場から考えるべきことは何か、子どもたちに必要な力とは何かを考え、子ども達が進んでいく社会イメージをどのようにもつのか、参加者とともに考える場にしたい。</p> <p>〈年間予定〉</p> <p>4月 学級集団の捉え方～いじめ問題をどう捉えるか～</p> <p>5月 実践報告「学級づくり」</p> <p>6月 子どもたちの人間関係はどうつくられるのか</p> <p>7月 「平和」をどう授業するか</p> <p>8月 大和に住む外国人の子ども達の実態と課題 (外国人の子ども理解のための学習会と合同開催)</p> <p>9月 実態報告「子どもの貧困」</p> <p>10月 「貧困」の連鎖を断ち切るために</p> <p>11月 道徳の「教科化」にどう向き合うか</p> <p>12月 中学卒業後の子ども達の進路と現状</p>
代表者名 事業従事者名	馬場有希 村本綾 前田拓郎
開催日時	毎週第1月曜日 19:15～21:00 8月は夏休み終了近くとする。また、祝日・振替休日は避け、翌週とする。 4/18、5/2、6/6、7/4、8/22、9/5、10/3、11/7、12/5
場所	富士見文化会館
対象者	教員・教職志望の学生を中心に、広く一般市民も対象
収入予定金額	総額 90,000 円 (内訳参加費)
支出予定金額	総額 55,000 円 (内訳 会場費 45,000 円・資料印刷費 5,000 円・講師交通費 5,000 円)
事業目標	大和市で働く教員として、学校で出会う子ども達や親が抱える大変さの背景や、学校を取り巻く世の中の状況を知り、現場の課題を多面的に捉える力をつけたい。各テーマを深め、「実際、学校現場はどうか、子どもはどうか。」と、現場の事例と引き合わせ、自分なりの解釈をもって自分の学校や子どもについて話せる場として学習会を設定したい。

学校支援事業 ②授業研究会〈労働教育〉

事業概要	<p>小学校ではキャリア教育が推進され、職業について考える機会が増え、道徳では「将来の夢」を持つよう促す場面もある。しかし、現代の社会状況における労働の現実等、仕事をリアルに捉えるところまでには至っていないのではないだろうか。特に学校現場では、夢を語るのは「善」他人の家庭の内情や仕事について聞くのは「悪」という風潮すらある。子どもたちの生活に密接に関わっている家庭状況や労働の実態が、知ってはいけないタブーのように扱われているように感じる。このように理想と現実との間で過ごすことで社会に出たときに初めて現実を知り、その闇に吞まれていく子どもたちも少なくないのではないか。</p> <p>昨年「労働法と学校教育のつながりを探る」をテーマとした合同理論学習会を通して労働教育の重要性を学習した。現在は高校教育の現場で「労働教育」が浸透しつつある。先に書いたような現状がある中で、小学校段階において働くとはどういうことなのか、様々な家庭状況を知ることも含め、現実にも少しでも触れることには意味があることだと考えられる。</p> <p>今年度は、労働の実態、労働教育について学習しながら、小学校段階における労働教育の可能性について、研究チームを中心に授業案を練りながら最終的には授業実践を行うことで探っていく。</p> <p>3月2日 労働教育基礎講座（かながわ労働センター 米岡雄一氏） 4月20日 講演会に向けての学習会 6月22日 講演会「若者たちの労働実態と求められる労働教育の視点」（仮） （労働教育研究会 高須裕彦氏） 7月13日 中学校・高校の労働教育の実践例 小学校で可能な授業の検討 7月27日 模擬授業「高校での労働教育」（労働教育研究会） 8月24日 小学校・中学校の労働教育 授業案持ちより 9月7日・28日 授業案検討会 中間報告 10月17日 授業実践（大和市内小中学校） 10月19日 授業検討会 11月16日 成果と課題・まとめ</p>
代表者名	下新原なつみ
事業従事者名	三澤律子
開催日時	原則 水曜日開催 19時～21時 3/2, 4/20, 6/22, 7/13, 7/27, 8/24, 9/7, 9/28, 10/17, 10/19, 11/16
場所	富士見文化会館
対象者	教員
収入予定金額	総額 100,000 円（内訳 参加費）
支出予定金額	総額 78,332 円（内訳 会場費 46,332 円 印刷費 2,000 円 講師謝礼）

	30,000 円)
事業目標	小学校段階での労働教育の可能性を探る 労働教育について学ぶ

学校支援事業 ③スタディツアー

事業概要	<p>これまでの理論学習会や、教育講演会で取り上げた内容を基に、現在の教育情勢や社会状況に関する場所へ出向いて、学習を行う。</p> <p>今年度は2014年度教育講演会で内山節先生がお話しされた、群馬県上野村への訪問を予定している。ソーシャルビジネスによる起業など新しい社会参画の場を実際に訪れ、私たちの日頃の生活と社会のつながりの新たな形を考える機会とする。</p> <p>訪問は10月下旬から11月上旬を予定している。それに向けて、9月に事前学習会を行う。</p>
代表者名 事業従事者名	池田喬
開催日時	9月 事前学習会 10月下旬から11月上旬 ツアー実施
場所	事前学習会 渋谷学習センター 訪問地 群馬県上野村
対象者	教員 教員志望者 市民
収入予定金額	総額 71,200 円 (内訳 参加費)
支出予定金額	総額 71,200 円 (内訳バスレンタル 60,000 円、旅費交通費 10,000 円、会場費 1,200 円)
事業目標	今日的な教育課題や社会状況の現場を実際に訪れることで、日常の課題を広い視野から考えることができるようにする。

学校支援事業 ④産休・育休・働くママのための学習会

事業概要	<p>大和市内では若い教員が年々増えており、今後子育てをしながら働く世代が多くなると予想される。そのため、今後はますます産休・育休中、または働く母親が限られた時間の中でも学習できる場が必要だと考えられる。よって本事業では対象を育児中の母親とした学習会を開催する。</p> <p>育休中は現場から離れていることで復帰後の不安を感じていたり、教育問題から遠ざかり考える機会が極端に減ってしまったりする教師も多いのではないだろうか。本学習会では、理論学習会、授業研究会での内容をコーディネートし、教育に関する問題を取り上げ、現場への復帰を視野に入れながら共に考える機会をつくる。また、社会から切り離されているように感じ、孤立しやす</p>
------	--

	<p>い育児中の母親が、人とのつながりをつくり、情報交換ができる場にする。</p> <p>時間帯は母親が来やすいように設定し、母親が子どもと一緒に学習会に参加できるよう、子育てアルバイトの学生と連携を取っていく。</p> <p>初回の4月には、参加者がどのようなことを学習したいかニーズ調査を行い、それをもとに残りの4回の内容を考えていく。8月には学習会を拡大して、仕事と子育ての両立に関する講演会や学習会を行いたいと考えている。</p> <p>4月23日 オリエンテーション 6月25日 学習会① 8月22日 拡大学習会 講演会(仮) 11月26日 学習会② 2月4日 学習会③</p> <p>また、本事業では学習会以外に保育アルバイトのコーディネートを担う。</p>
代表者名	清水美希
事業従事者名	下新原なつみ
開催日時	<p>年5回 原則第4土曜日 10:00～11:30</p> <p>4月23日(土)、6月25日(土)、11月26日(土)、2月4日(土)</p> <p>8月は22日～の週で1日</p>
場所	富士見文化会館
対象者	産休・育休中、または働きながら子育てをしている教師
収入予定金額	総額 35,000円(内訳 参加費)
支出予定金額	<p>総額 155,640円</p> <p>(内訳 【本事業分】会場費 35,640円(7128円×5回) 印刷費 2,000円 保育アルバイト料 20,000円(2人×5回) 【子育て支援分】保育アルバイト料 68,000円<理論学習会 36,000円(2人×9回) 授業研究会 20,000円(1人×10回) 総会・講演会 12,000円(2人×6時間)></p>
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 産休・育休中の母親でも学習がしやすい場所を提供する。 現場から離れている母親に向けて、教育に関する問題を取り上げ、考える機会をつくる。 社会から孤立しやすい母親が、人とのつながりをつくる場所にする。

学校支援事業 ⑤外国人の子ども理解のための学習会

事業概要	<p>Ed.ベンチャーが支援している当事者団体「すたんどばいみー」では、昨年度末から大和市教育委員会が主催する「寺子屋事業」の外国人の学習支援ボランティアを開始している。今年度は、大和市教育委員会との協同事業を提案し、寺子屋での外国人支援を積極的に展開したいという意向をもっている。その事を念頭に置き、寺子屋での外国人支援ボランティアを対象に、春4コマ×2日間・夏4コマ×2日間、計16コマ学習会を行っていき、外国人の子どもたちが置かれている状況や課題を理解し、寺子屋での学習支援に役立て</p>
------	--

	ていくため、すたんどばいみースタッフと連携し、学習会をコーディネートしていきたい。 <学習会内容 2日間> (春・夏 同じ内容で実施) ① 大和市の外国人児童の実態とそのための外国人支援のしくみ ② すたんどばいみーは、なぜ立ち上げられ、何を担おうとしているのか？ ③ まったく日本語(日常会話)が分からない児童への指導は？ ④ 日常会話がある程度理解できる児童への学習指導の実際 ⑤⑥出身国の違いによる外国人児童のかかえる課題を知る ⑦ 外国人としてアイデンティティを獲得するための困難さ ⑧ 今までの学習を振り返っての討論 学習支援を開始するに当たっての事務手続きなど
代表者名 事業従事者名	前田拓郎、西岡歩、内藤順子 馬場有希
開催日時	春：3月29日(火)・30日(水)、夏：調整中 日程スケジュール 受付 9:15 9:30～10:40/10:50～12:00/13:00～14:10/14:20～15:30 2日目事務手続き説明 15:50～16:00
場所	春：渋谷学習センター(夏の会場は未定)
対象者	寺子屋での外国人支援ボランティア希望者など
収入予定金額	0円
支出予定金額	40,000円(内訳 会場費、資料代など)
事業目標	寺子屋事業に従事する大学生ボランティアが「大和市の外国人児童、生徒」が抱える問題を理解し、学習支援する際にその課題を配慮できるようにする。

外国人支援事業

⑥子どもの居場所・学習支援教室(エステレージャ・ハッピー教室)

事業概要	<p>就学前幼児、小学生、中学生の外国人児童生徒を対象とした学習支援教室を開催する。</p> <p><小学生教室></p> <p>小学生の児童に対しては、宿題支援の他、教科学習支援として、国語・算数を中心に、学年ごとに習得すべき内容の教材を使用した学習の支援を行う。外国人の子どもたちは、家庭では母国語の環境で育つため、日本人の子どもたちと比べ、圧倒的に日本語の語彙の数や、日本語での経験の機会が少ない。このことを反映して、幼児～1年生の学習の習得が日本人の子どもより難しく、2年生以降の学習に影響しないような学習支援が求められる。そのため、就学前～1年生に対しては、体験的な学習を積極的に行う。</p> <p>4年生以降になると、語彙の少なさや経験の少なさは、学習の遅れだけでなく、ことばでの人とのつながりの難しさに繋がっていく。その難しさがある</p>
------	--

	<p>ため、「他の子よりもできる」と人と比べることで自尊心を保とうとする場面がみられる。このことから、4年生以降の児童には、学習だけではなく、家や学校の話の聞いたり、学習においては学年を超えた集団授業などを工夫する。</p> <p>また、大和市在住の児童に対しては、「放課後寺子屋やまと」への参加を勧める。</p> <p><中学生教室></p> <p>中学生に対しては、普段の学習支援の他、定期テスト対策、高校受験支援を行う。中学生は、部活動や学習など学校での活動に遅れないように必死についていこうとするが、学習の仕方が分からないなど、ついていくことが難しくなってくる生徒がいる。今が精いっぱいである結果、進路選択の際に明確な目標を持たず、高校受験へ向かう態勢が日本人の生徒に比べ遅れがちになる。そのため、学校の学習の支援に限らず、生活や労働についてなど将来の進路選択を見越した学習内容を考える。その際、すでに社会に出て働いている外国人の先輩から話を聞く機会を設けたい。また、春休みには宿泊合宿を行い、教室とは離れた場所でお互いに活動したり話をしながら関係性を作る機会を設ける。</p> <p><厚木出張教室「Kokusai B.G.」></p> <p>2015年度まで厚木市在住の外国人児童生徒を対象とした学習支援教室Kokusai B.G.は、2016年度よりエステレージャ・ハッピーに統合する。高校受験を控えた生徒もいるため、移行措置として、3月までは出張教室として厚木市内で開催する。</p>
<p>代表者名 事業従事者名</p>	<p>家上幸子 篠原弘美 内藤順子 福島聖子 吉間里依 坂口晶紀 角替弘規 馬場貴司 今野佳和 エストレメーナシャイナ 相模女子大ボランティアサークル「ミント」 保坂克洋 佐藤智宏</p>
<p>開催日時</p>	<p><就学前～小学生>毎週土曜日 10:00～12:00 <中学生>毎週土曜日 10:00～12:00 定期テスト前 平日週1回 18:30～20:00 年10回程度 中3受験対策学習会 12月下旬 個別対応 随時 <Kokusai B.G.>2016年3月まで 毎週土曜日 14:00～16:00</p>
<p>場所</p>	<p>大和市立林間小学校学校開放、鶴間コミセン、勤労福祉会館、アミュー厚木</p>
<p>対象者</p>	<p>就学前～中学生の外国人の子ども</p>
<p>収入予定金額</p>	<p>総額 16,000円（内訳 参加費 16,000円）</p>
<p>支出予定金額</p>	<p>総額 391,000円（内訳 旅費交通費 20,100円、消耗品費 250,000円、印刷製本費 20,000円、賃借料 60,000円、諸謝金 25,000円、保険料 6,000円）</p>

事業目標	<p><小学生教室> 読み書き計算の基礎学力を付ける。友達と一緒に学ぶ楽しさを伝える。</p> <p><中学生教室> 社会に出ていくために必要な力を身につけさせる。個別の課題を共有できるようにする。</p>
------	---

外国人支援事業 ⑦保証人事業

事業概要	<p>外部の奨学金を受ける際、保証人を用意できない外国人の学生に対し、「保証人グループ」を構成して、保証人を引き受ける事業である。希望者が現れた場合は、進学の方法や将来の見通しを十分に確認した上で、保証人を引き受けるかどうか決定する。また、保証対象者については、1月と7月に報告会を開き、生活状況や返済状況の確認をする。特に心配される保証対象者とは、月1回の面談を行い、より丁寧に確認をしていく。</p>
代表者名 事業従事者名	<p>神戸芳子・武内敏子・家上幸子 内藤順子 清水睦美 篠原弘美 馬場有希 チューブソッケム</p>
開催日時	<p><定例> ① 報告会 1/30(土) 16:30~19:00 基金の会報告会と合同開催 7月(日時未定) <臨時> ② 保証人グループ会議 必要に応じて開催 ③ 個別面談 毎月26日</p>
場所	<p>渋谷中学校開放「下和田の郷」、富士見文化会館、当法人事務所</p>
対象者	<p>保証対象者3名(高校奨学金1名、日本学生支援機構1名、 国際医療福祉大学熱海病院看護師奨学金1名)</p>
収入予定金額	<p>総額 0円</p>
支出予定金額	<p>総額 4,000円(内訳 会場費)</p>
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金を希望する外国人学生が、保証人が見つからずにあきらめるということがないように、事情を確認した上で支援を行う。 ・保証対象者との定期的な面談の中で、生活状況を把握し、適切なアドバイスを行い、返済が滞ることのないようにする。

普及啓発事業 ⑧すたんどばいみー基金の会

事業概要	<p>「すたんどばいみー」など、外国人当事者団体で活動する大学生及び大学院生に対して、高等教育に関わる費用の貸借に関する事業を行う。また、今後のすたんどばいみーの活動の展開に即し、現在の原資を、借り受けから寄付</p>
------	---

	へ変更していくように呼びかけていく。
代表者名 事業従事者名	チャンソワンナリット (すたんどばいみー) 清水睦美
開催日時	報告会 ①2015年度 2016年1月30日(土) 16:30-19:30 個別面談 ②毎月26日(保証人事業と共同) ③各月月末 ④各月第一日曜日
場所	①渋谷中学校開放「下和田の郷」、②当法人事務所、③④適宜
対象者	①貸与者6名(参加者22名) ②③④各1名
収入予定金額	総額0円
支出予定金額	総額11,000円(内訳:通信運搬費4000円、印刷製本費7000円)
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・借り受けから寄付への変更を呼びかける ・寄付を増やす ・返金を遅滞なく受け取る

※「すたんどばいみー基金」の貸与・返還は、例年どおり特別会計として行う。

普及啓発事業 ⑨教育相談

事業概要	学校相談、教師相談、保護者相談、外国人当事者活動相談の4部門に分け、内容に応じて必要なグループを立ち上げて相談に応じる。相談内容については、活動報告会で報告し、社会的に弱い立場にある者に必要な支援のあり方を探っていくような場を設ける。
代表者名 事業従事者名	松永雅文 清水睦美
開催日時	適宜
場所	適宜
対象者	学校、教師、保護者、外国人当事者
収入予定金額	総額 0円
支出予定金額	総額 20,000円(内訳 会場費)
事業目標	相談を通じて、社会的に弱い立場にある者のニーズやそれに対応する支援のあり方を探る。

普及啓発事業 ⑩学校及び外国人支援に関する普及啓発事業

事業概要	<p>学校支援、外国人支援の必要性を広く市民に呼びかけるための活動を6部門に分けて展開する。</p> <p>(1) 教育講演会(2016)の開催及び教育講演会(2017)の準備</p> <p>(2) 広報「Ed. ベンだより」の作成と配布</p> <p>(3) ホームページの運営</p>
------	--

	(4) 2016年度版パンフレットの作成と配布 (5) 他機関・他団体等の関係構築 (6) 会員に対する情報提供
代表者名 事業従事者名	角替弘規 下新原なつみ、前田拓郎、清水睦美
開催日時	(1) 教育講演会(2017)の準備(7月頃より講演内容検討開始) (2) Ed. ベンだより発行: 2、4、6、8、10、12月(年6回) (3) ホームページ公開(更新随時) (4) 2016年度版パンフレット配布: 4月 (5) (6)随時
場所	当法人事務所・富士見文化会館等
対象者	(1) 当法人理事を中心とする希望者 (2) (4)会員、当法人関係機関、大和市内の学校機関 (3) 一般公開、(5)随時、(6)会員
収入予定金額	総額 0円
支出予定金額	総額 387,000円(内訳: 印刷製本費 126,000円、賃借料 18,000円、通信運搬費 40,000円、会議費 20,000円、消耗品費 70,000円、諸謝金 30,000円、業務委託費 50,000円、雑費 3,000円)
事業目標	今日の社会状況を踏まえて当法人の活動を位置づけ、社会的に弱い立場にある者の支援の重要性を普及・啓発していくこと。

普及啓発事業 ⑪東日本大震災支援・反原発関連活動

事業概要	宮城県石巻市万石浦地区での「ライオン学校」としての支援終了後、対象としていた子ども達たちの神奈川への卒業旅行をきっかけとして、当事者からの支援のニーズを受け、3年間の支援継続を決定した。高校生になった対象者を核として、かれらのニーズを丁寧に探りながら活動を継続していくこととする。 陸前高田市の教育支援グループ「まつ」への支援は、「まつ」からの要請に応じた支援を今年度も継続する。 反原発関連活動については、関連情報を集めて会員向けに発信していく。
代表者名 事業従事者名	藤原弘輝 甘利悠貴・今井美里・大林沙紀・清水睦美
開催日時	随時
場所	適宜
収入予定金額	68,344円(寄付 30,000円、ライオン学校より引き継ぎ 38,344円)
対象者	陸前高田教育支援チーム「まつ」、石巻ライオン学校の子どもたち
事業目標	・被災地のニーズの変化にあわせた対応を迅速に行う。

⑫法人の事業円滑実施のための活動

事業概要	法人の事業円滑のための活動を3部門に分けて行う。 (1) 法人内の事業相談 (2) 活動報告会の開催 (3) 会計 (4) 総会・事業記録・事務所管理
代表者名 事業従事者名	清水睦美 武内敏子、家上幸子、すたんどばいみー、篠原弘美、神戸芳子、小西永里子
開催日時	(1) 事務局会議(月2回)、適宜 (2) 活動報告会(年8回) (3) 会計処理(常時)、会計確認(年4回)、会計監査(年1回) (4) 適宜
場所	当法人事務所・富士見文化会館等
対象者	法人内会員
収入予定金額	0円
支出予定金額	管理費724,000円(諸謝金10,000円、通信運搬費150,000円、消耗品費200,000円、印刷製本費15,000円、ガス水道光熱費80,000円、賃借料258,000円、租税公課1,000円、雑費10,000円)
事業目標	事業円滑実施のために活動し、事業の質を確保すること。